

馬込川水系

【参考図】

1. 流域図
2. アンケート調査結果

平成27年9月14日
静岡県

アンケート調査における河川(区間)の区分

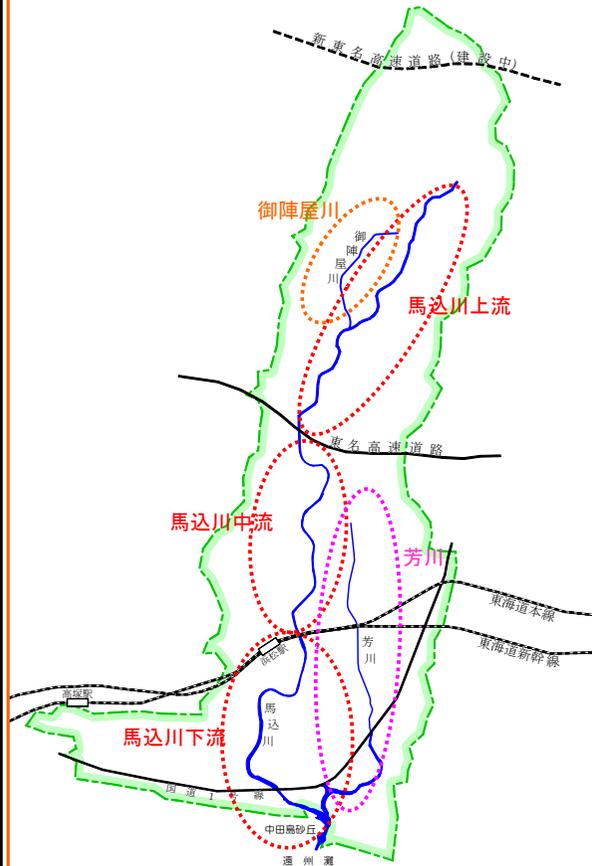
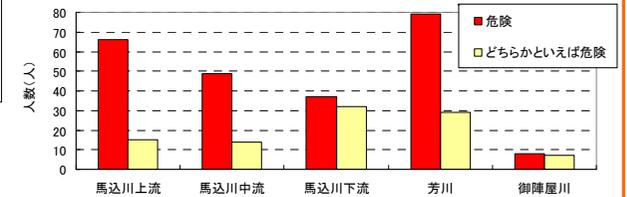
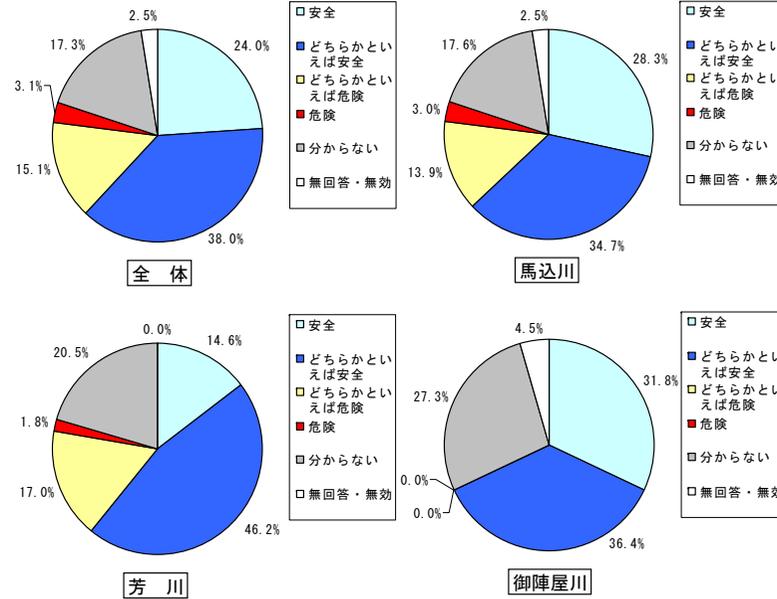


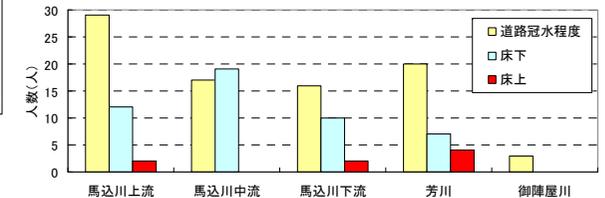
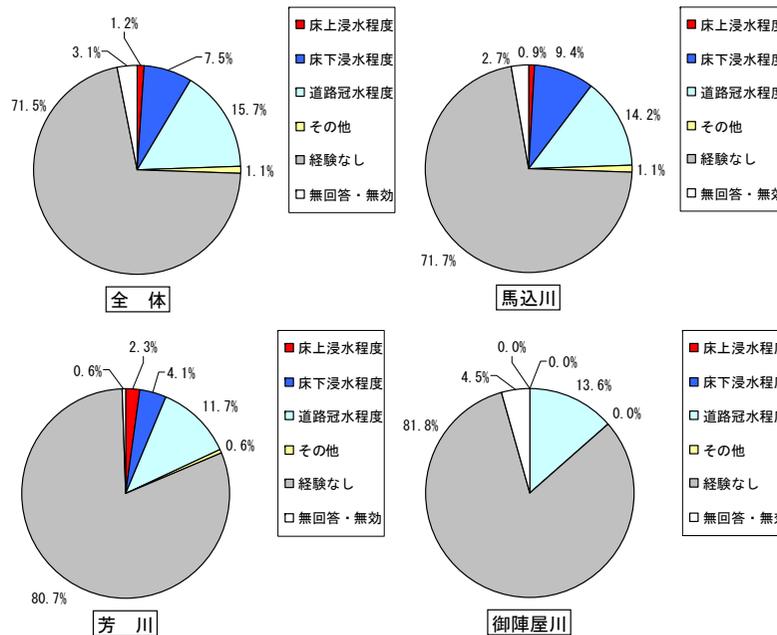
図1 馬込川流域図

Q.「身近な川」は、大雨による水害に対して安全だと思いますか？



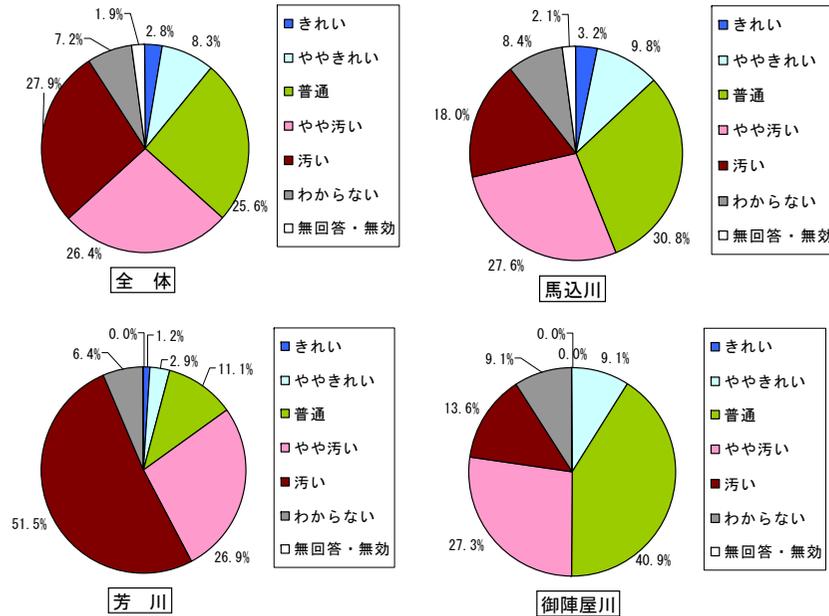
- 水害に対する安全意識としては、「安全」「どちらかといえば安全」と答えた人が回答者全体の約6割程度を占めている。「危険」「どちらかといえば危険」と感じている人は回答者全体の2割弱程度である。
- 「危険」「どちらかといえば危険」と感じている人の内訳を河川別にみると、芳川や馬込川上流区間で危険を感じている人が多い。

Q.過去に「身近な川」の洪水などによる水害にあったことはありますか？



- 過去の水害経験については、回答者全体の約2割程度の住民が、過去に水害を経験している。
- 水害経験者の内訳を河川別にみると、馬込川上流区間が最も多く、次いで馬込川中流区間や芳川での水害経験者が多い。

Q.「身近な川」の水質はどう思いますか？



◆水質について

- 水質については、馬込川および御陣屋川では「汚い」「やや汚い」と答えた人が約4割程度なのに対して、芳川では約8割に達する。
- 芳川は、馬込川および御陣屋川と比較して、工場等からの排水により河川水が濁ることが多く、濁りが「汚い」と感じる理由の一つと考えられる。

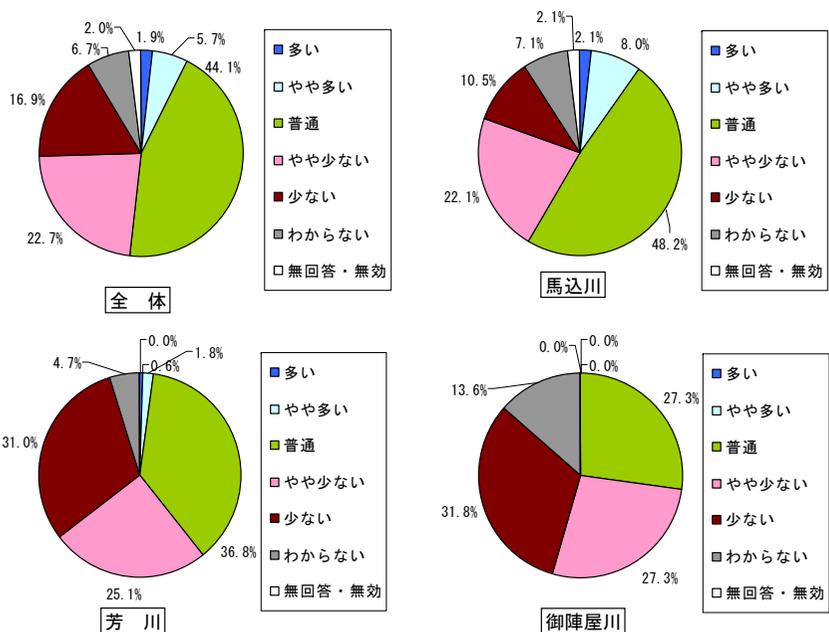
◆水量について

- 水量については、馬込川については「多い」「やや多い」の回答が芳川、御陣屋川に比べ高い傾向にはあるが、「普通」と感じている人が半数程度である。
- 掃流用水が流れている馬込川の豊富な流況が、地域住民にとっての原風景となっていることがうかがえる。

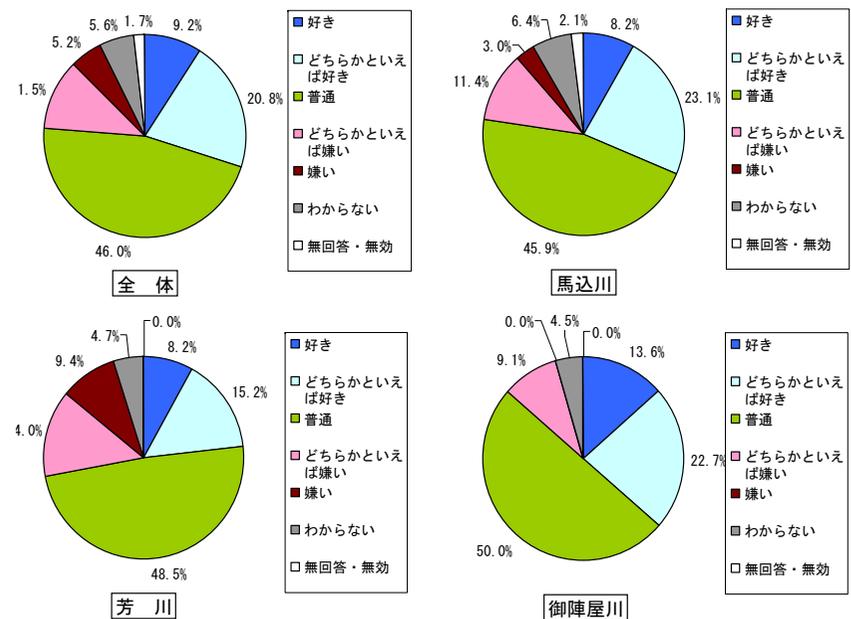
◆風景について

- 風景については、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた人が回答者全体の約3割を占める。反対に、「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた人は回答者全体の1割以下である。
- 馬込川および御陣屋川では「好き」「どちらかといえば好き」の割合が3割を上回るが、芳川では2割程度にとどまる。風景としては、馬込川および御陣屋川が芳川よりも好まれていることがうかがえる。

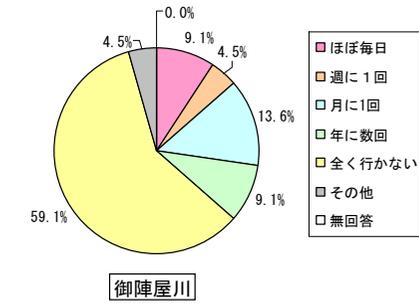
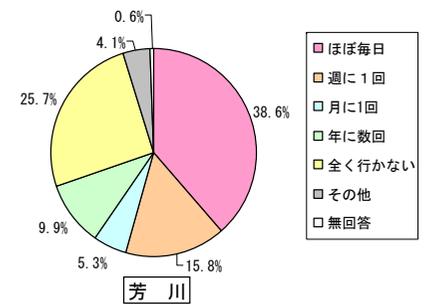
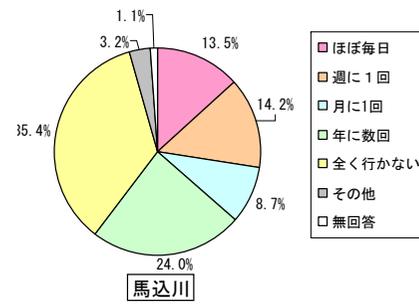
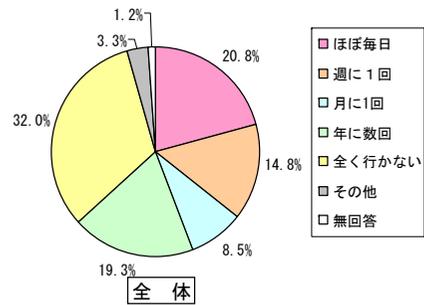
Q.「身近な川」の水の量はどう思いますか？



Q.「身近な川」の風景はどう思いますか？



Q.どれくらいの頻度で「身近な川」に行きますか？



◆川の利用頻度について

➢ 身近な川へ行く頻度は「年に数回」「全く行かない」と答えた人が回答者全体の半数以上を占めており、川へ訪れる頻度はそれほど高くないことがうかがえる。

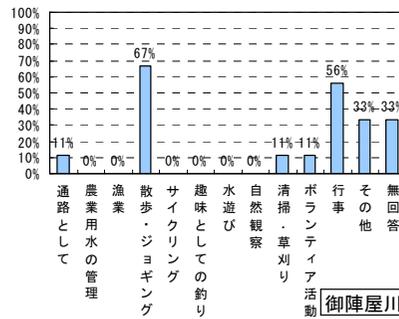
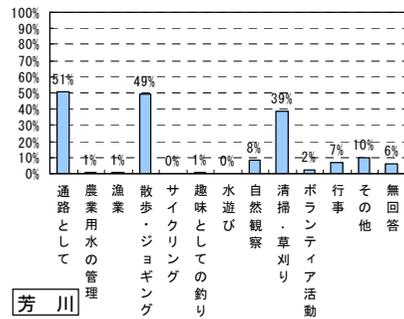
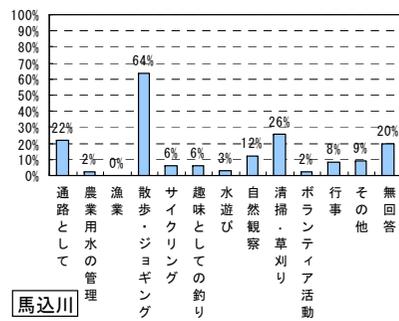
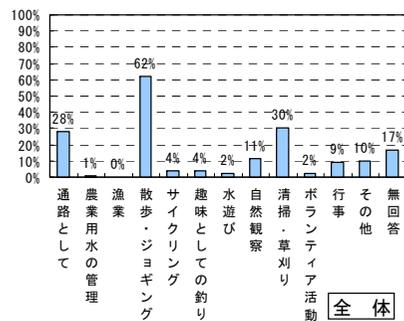
◆川の利用目的について

➢ 身近な川へ行く目的は「散歩・ジョギング」が最も多く、回答者全体の約6割程度を占める。
➢ また「清掃・草刈り」が3割程度を占めており、河川の美化活動に積極的に関わっている住民も多いことがうかがえる。

◆リバーフレンドシップの認知度と活用について

➢ リバーフレンドシップについては、回答者全体の約8割程度の人が認知していない。
➢ しかし、回答者全体の約3割の人が「知らないが活用したい」と答えており、現在既に活用している人とあわせると、回答者全体の約4割程度となる。

Q.「身近な川」へはどのような目的で行きますか？



Q.堤防除草や清掃などの河川維持・愛護活動に対して、「リバーフレンドシップ」という助成制度を知っていますか？

